

2. ヒメジャコの成長量調査

材料及び方法

保護水面区域内磯原部側のハマサングに穿穴生息したヒメジャコを継続測定した。ヒメジャコは天然では基質の中によつてと穴を掘って生息している。貝は殻長1cm前後から貝が入っている穴の基質表面の長径と短径よりも殻長と殻幅が大きくなる。貝の成長は閉殻させた後、ディバイダーの両先端を貝の縁から殻長部へ移動させ、貝と両先端部との接点の最大値を測定した。この測定値を穿穴長径値と仮称した。測定は7月に実施し、水深が0.5~1.0mの時に潜水観察によって行った。

結果

1978年(昭和53年)からの継続調査で、前年度と同じく5個体が生残した。結果は表2と図2に示す。

表2 ヒメジャコの成長量

年 \ 個体No.	1	2	3	4	5	6
'78	1.30	1.20	1.15	1.40	1.30	1.05
'79	2.85	2.80	2.80	3.25	2.85	2.50
'80	4.45	4.65	4.55	5.45	4.65	4.35
'81	5.85	6.10	6.15	7.00	6.80	6.40
'82	7.00	6.90	7.10	7.95	8.00	7.65
'83	8.05	8.15	7.90	8.80	8.75	8.85
'84	8.60	9.00	8.40	9.35	9.70	9.35
'85	9.00	9.65	8.50	9.75	10.30	8.70
'86	9.30	10.00	8.60	9.75	10.45	10.05
'87	9.60	10.40	8.95	10.20	—	10.20
'88	9.80	10.40	9.60	10.30	—	10.20

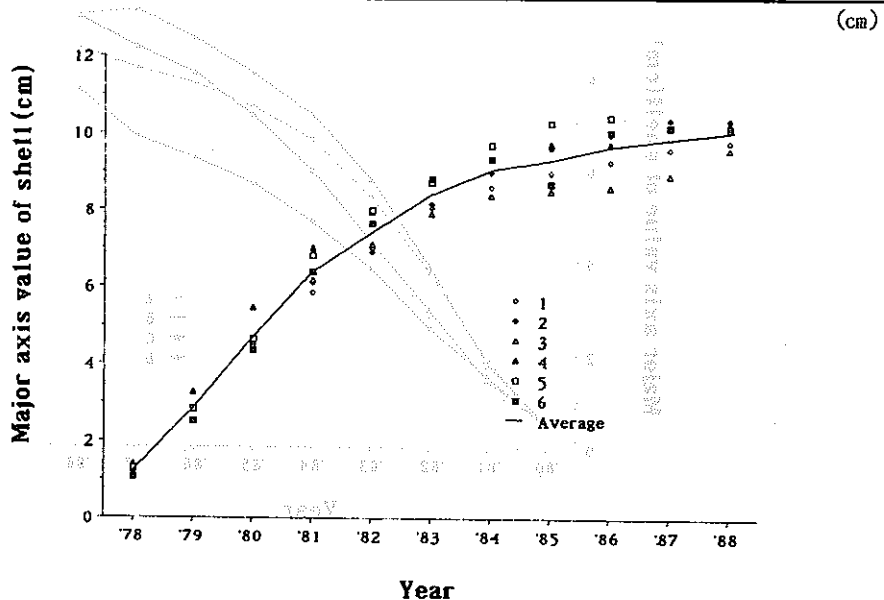


図2 ヒメジャコの成長量